

令和4年度  
富山短期大学 付属図書館

# 自己点検・評価報告書

令和5年5月  
富山短期大学 付属図書館



# 令和4年度 富山短期大学附属図書館 自己点検・評価報告書

## I 現状

### <概要>

大学図書館としての使命を果たすため、以下の活動事業を基本に遂行した。

1. 学修・教育支援の推進
2. 研究支援の推進
3. 地域貢献の推進
4. 学生図書館サークル活動の推進

### <各事業の詳細>

#### 1. 学修・教育支援の推進

主体的学びや共同学習を促進するため、授業外学習時間の増加・確保を図れるよう、自学自習や小集団学習に適した環境整備を行った。

(1) コロナ感染拡大の防止策として、昨年度に引き続き次の環境整備を実施した。

- ① 除菌ボックス内で返却図書に、約45秒の紫外線照射を実施
- ② 消毒液の設置と、窓・扉を開放した換気を実施  
検索用端末のキーボード、コピー機の操作キーをラップで被い、頻繁に交換
- ③ 閲覧席100席を50席に削減し、適切な間隔を設定
- ④ セルフ貸出機の設置

(2) 利用を促進するために、各学科の新着図書を壁面書架で表紙を見せて展示している。その結果、多くの新着図書の貸出しがあった。

(3) 配架環境の安全と閉架書庫内のスペース確保のために、適切な除籍・廃棄を行った。

(4) メディアルーム利用

メディアルームをグループ学習ルーム、ラーニング・コモンズとしても利用できるように整備している。令和4年度はプロジェクターを使い、映写会を実施することができた。

#### ① <学習利用回数>

令和4年度：62回（令和5年3月末現在）

#### ② <DVD鑑賞>

令和4年度：25件（37人）

#### ③ <映写会利用>

令和4年度：2回「JOKER」ほか

令和4年度は、メディアルームにプロジェクター、スクリーンを設置したことにより、ラーニング・コモンズの要件を概ね満たすことができた。プロジェクターは、図書館サークルによる映写会及びビブリアバトルの説明で活用された。今後は、メディアルームをゼミのプレゼン

テーションや、個別の映写会等に利用できることを学内に向けて発信したい。

※ラーニング・コモンズの要件

- ① 可動式の机・椅子・ホワイトボードがあり、グループ学習ができること
- ② 無線 LAN 環境が整備され、学生が利用できるインターネット PC を多数設置し、プロジェクターなどを使ってプレゼンテーションが行えること
- ③ 喫茶や談話ができること
- ④ 資料探索やレポート執筆の指導などに、人的支援を提供できること

参考文献：『ラーニング・コモンズ 大学図書館の新しいかたち』勁草書房 2012

## 2. 研究支援の推進

- ① 短大では、昨年度と同様に正規のカリキュラムの授業科目において図書館を授業展開に活用する講習会(授業担当教員と連携があったものとする)を実施した。

あらかじめ、ゼミ担当教員からテーマと要望を伺い、且つ少人数制をとったことで、きめの細かい指導と広い範囲からの文献・調査資料の提供を行うことができた。授業に組み込んだことにより、基本的な図書館の利用方法や、データベースを活用した情報リテラシーを高めることができた。

- ② 学生から個別に「文献検索講習会」の依頼を受けるようになった。

<令和4年度実施の内訳> (3月末現在)

食物栄養学科 : 4回  
幼児教育学科 : 2回  
専攻科食物栄養 : 5回  
子ども育成学部 : 5回  
個別対応 : 2回

- ④ 富山国際大学の教員から子ども育成学部「教養演習」履修者(1, 2年生)を対象に「図書館情報リテラシー」についてレクチャー依頼があった。これを受けて令和4年6月15日にオンラインで1, 2年生(200名)に授業を実施した。

### 【レファレンステーマ】

食物栄養学科 「卒業研究」

- 1) 「パーム油を使用しないお菓子の開発」
- 2) 「キュウリの輪切りを利用したレシピ開発」
- 3) 「乳和食」おいしい味を探そう
- 4) 「減塩食」

幼児教育学科 「総合演習」

- 1) 「ロシアの絵本の中から《大きなかぶ》を題材とし、オリジナル絵本製作に挑戦」
- 2) 「アイスランドのインクルーシブ保育」

**専攻科食物栄養** 「特別研究 1」

- 1) 「エゴマの添加が食パンの保存性に及ぼす影響」
- 2) 「卵の鮮度保持期間および細菌増殖への短時間加熱処理の影響」
- 3) 「血糖値、糖尿病、咀嚼」
- 4) 「ナスに含まれるヒスタミンとは」
- 5) 「意識的にキュウリを摂取することは野菜摂取量増加の一助となるのか」

**富山国際大学子ども育成学部**

- 1) 「インクルーシブ教育について」：2回
- 2) 「自己肯定感が子どもの発達にどのように作用するのか」：2回
- 3) 「図書館情報リテラシー」対象：「教養演習」履修者 1、2年生

※富山国際大学子ども育成学部の教員から、令和 5 年度も引き続き 1 年生を対象に、「教養演習」の授業で「情報収集：図書館の活用について」と称する講習の依頼を受けている。

### 3. 地域貢献の推進

富山県民の図書館利用の利便性を考慮し、併せて本学学生及び教職員にとっての利便性向上も推進するために、本学は県内公共図書館との相互貸借に関する協定を締結している。令和 4 年度の実績は、資料 9 参照。

### 4. 学生図書館サークル活動の推進

- ① 新入生歓迎会及び第 1 回図書館サークル会議を実施。
- ② 読書会：2 回（5 月、6 月） テーマ：ミステリー小説。
- ③ 映写会：2 回（6 月「JOKER」、7 月「トイストーリー 2」）
- ④ 富山国際大学図書館サークル「つんどく」と交流会 葉の作成
- ⑤ ビブリオバトル：1 回 チャンプ本：織守きょうや『記憶屋』角川文庫 2015
- ⑥ 選書ツアー：1 月 12 日（木） 選書冊数：77 冊
- ⑦ お疲れ様会（学生自ら選書した・コメントした本を用いたプレゼント交換を実施）

## II 考察

### <令和 4 年度統計に見る図書館側の考察>

総貸出冊数が、前年度に比べて大きく減少した。令和 4 年度の総貸出冊数は 5,382 冊（資料 7）であり、前年度と比較すると 1,145 冊減少した。それに比例して、貸出し延べ人数は 444 人（資料 8）、一人当たりの貸出冊数も、0.96 冊減少した（資料 6）。

<実績>

	令和3年度	令和4年度	
貸出冊数（子ども育成学部）	2,562冊	2,267冊	資料4「月別貸出冊数」
貸出冊数（食物栄養学科）	246冊	164冊	資料4「月別貸出冊数」
貸出冊数（幼児教育学科）	895冊	607冊	資料4「月別貸出冊数」
貸出冊数（経営情報学科）	730冊	713冊	資料4「月別貸出冊数」
貸出冊数（健康福祉学科）	161冊	99冊	資料4「月別貸出冊数」
貸出冊数（専攻科食物栄養）	129冊	198冊	資料4「月別貸出冊数」
貸出冊数（教員）	1091冊	648冊	資料4「月別貸出冊数」

- ① 総貸出冊数 5,382 冊のうち、学生の総貸出冊数は、4,048 冊である。そのうち国際大子ども育成学部の学生の貸出冊数が 2,267 冊であり、学生貸出冊数全体の 56%を占めている（資料 4）。学内貸出対象者数は、短大生が 645 名、専攻科生が 28 名、子ども育成学部生が 395 名である（資料 2）。このことから、総学生人数 1,068 名の内の 37%である子ども育成学部の学生が総貸出冊数の 6 割弱を占めていることがわかる。

貸出冊数、貸出人数共に前年度と比較して増加しているのは、短大の専攻科食物栄養のみで、他の 4 学科 1 学部は、減少に転じた。その中でも食物栄養学科は、前年に比べて 33%、幼児教育学科は 32%、健康福祉学科は 39%の減少となった。例年実施されていた図書館を活用した授業が、令和 4 年度は実施されなかったことも要因の一つと考えられる。

さらに、教員の貸出冊数も 41%減少し、図書館の蔵書でもある個人研究図書の予算執行率は 29.5%に留まっている。

- ② 前年度に比べて入館者数が 1,513 人増加した。（資料 2）。本は借りないが、図書館に滞在する学生が増えている。開館と同時に入館し、授業と授業の間に再び来館する学生を見かけるようになった。各自の書齋として図書館を有効活用している。
- ③ 県内公共図書館との相互貸借の利用が増えている。「図書館利用状況」（資料 2）では、9 図書館相互協力（依頼・貸出）が前年度に比べて大幅に増加している。富山県内公共図書館の本を取り寄せた冊数は、186 冊で昨年度よりも 45 冊増加した。富山県内高等教育機関の中では本学が一番多くこの制度を利用している（資料 8）。また、本学から富山県内公共図書館へ提供した図書は 9 冊であり、3 冊増加した。
- ④ 学外者が本学付属図書館へ来館し、直接窓口で図書を借りた件数は 109 冊（資料 4）であり、前年度の 89 冊に比較して 20 冊増加した。学外者への対応は、地域貢献においても意義あることと考えられる。令和 5 年度も相互貸借制度の周知強化を図りたい。
- ⑤ 「図書館利用状況」（資料 2）では、7 文献複写依頼、8 文献複写受付 の件数が前年度に比べて大幅に増加していることがわかる。

### Ⅲ 次年度の方針・計画

#### 1. 今後の図書館の運営方針

令和5年度は、蔵書構成の比率を見直すことが必要と思われる。書架に余裕スペースがないことから、旧家政学科や旧文学科国文専攻の時代に購入された図書の除籍を進め、現学科の教育・研究を反映した図書を充実させていくことが必要と考える。ただし、貸出冊数の増加目的で娯楽性の高い図書を多く購入することは、大学図書館の本質を維持するためにも避けることが望ましい。

(資料3)

大学図書館は、教育機関に属する施設であることから、教育方針に沿って、学生の学習成果向上に貢献することを目的としたサービスの展開が期待されている。令和4年度の貸出冊数減少を一時的現象にとどめるよう、目的と理念を揺るがさず、大学図書館として学修に対応できる文献の提供は元より、蔵書構成が本学における学びの要請を的確に反映しているか吟味検討し、改善に努めていきたい。

#### 2. 図書館からの発信強化

例年、月初めに新着図書リストを学内に配信するとともに、学外へは図書館HPで開示している。年度始めには図書館利用状況を可視化できるデータ「統計から見る図書館」を学内に配信し、館内にも掲示している。また、無記名で「図書購入リクエスト」を記入できるアンケートボックスを設置し、アンケートで記述された質問に、図書館が応える形でリクエスト用紙を掲示し、「図書館と学生」の交流の場を提供している。

令和5年度はそれらに加えて、利用率を上げる工夫（ユーザ数を増やす工夫）として、多くの学生が参加できるイベントを企画実施したい。

#### 3. 令和5年度重点事業計画の策定

令和5年度重点事業計画

1. 少人数制を原則に研究支援、授業支援を行う。
2. 図書館サークルの活動を支援する。
3. 全学生を対象としたイベントを開催する。
4. 富山短期大学教員著作及び電子目録を公開する。
5. 学園発行の機関誌の整備と展示を行う。